

(活動報告書様式)

団体名	山形大学 SCITA センター学生スタッフ		
事業名	未来の人材に、科学とのふれあいを！		
助成事業区分	協働助成事業（一般型）【県政課題：科学との触れ合いの場の提供による子どもたちの「科学する心」の醸成】		
団体の 所在市町村	山形市	事業費	464,171 円
		うち助成金額	464,171 円



■ 事業目的

山形県で問題となっている科学技術分野を担う人材不足解消のため、科学体験イベントを主催・出展することで子どもたちに科学との触れ合いの場を提供し、科学に対する興味や関心を深め、人材を育成することを目的とする。

また、科学を楽しむだけでなく、夏休み自由研究サポートで探求する心や科学的な問題を解決する力、他人へ伝える力を育成するほか、参加者同士で科学のテーマについて話し合うサイエンスカフェなどを実施することで、大人もイベントに参加し、子どもたちと一緒に科学を楽しみ、より科学を身近なものとし、触れ合いやすい環境を作ることによって科学好きの若者の県内の定着を助け、山形県の人口減少や人材不足を解消に寄与する。

■ 実施内容

・夏休み自由研究サポート

8月7日～9日に大学内で実施。参加者22名。子どもたちの夏休みの自由研究のサポートを

行うことによって子どもたちの科学を探究する心だけでなくその方法や他の人への伝え方を育成。

・サイエンスカフェ

9月7日に大学内で実施。参加者25名。大人と子どもでそれぞれこれから始まるプログラミング教育について話し合うことで、子どもだけでなく大人の科学に対する意識の向上にも貢献。

・科学体験教室

1月18日にイオンモール天童にて実施。参加者236名。台風のため中止となったサイエンスリンク in 山形の代替として行った。大型商業施設にて行ったことで、普段は科学に触れない人にも気軽に体験してもらい、より広い範囲への科学の普及を行った。

・その他、地域での実験教室

地域の催しへの出店や山形県産業科学館での実験教室、山形大学医学部附属病院でのサイエンスショーなど、県内各地で活動を行った。

■ 事業の成果および今後の展望

・事業の成果

令和元年度には約750の方に体験していただき、たくさんの子どもたちが科学に興味関心を持ってくれたことと思う。

また、地域の催しなどを通してさらにたくさんの人に魅力を伝えることができた。

特にイオンモール天童での科学体験教室では、普段はあまり来ないような方々にも体験していただき、初めて参加したという人も多く、より一層科学の魅力が伝えられたと感じた。

・今後の展望

大型商業施設でのイベントなどを通して、より広い範囲、広い層への科学の興味関心を育み山形県の科学技術、産業発展を担う人材育成の一助とする。また、地域のほかのボランティア団体との関係を深め、学生スタッフのスキルの向上などに努める。

山形大学 SCITA センター学生スタッフ

Twitter・Instagram・LINE もやっています

るのでご登録をお願いします。

<http://www.yamagata-u.ac.jp/scita/>